

【声明】

2022 年 10 月 5 日

北朝鮮のミサイル発射に際しての全国瞬時警報システム(「Jアラート」)の乱用に抗議します

北海道民主医療機関連合会
会長 小市 健一

10月4日午前7時22分ごろ、北朝鮮が中距離弾道ミサイルを発射し東北地方上空を通過した後、午前7時44分ごろ太平洋上の日本の排他的経済水域(EEZ)外に落下しました。日本を越える弾道ミサイルを発射したことは、航空機や船舶、地域住民を危険にさらすもので厳しく非難し、断固抗議するものです。

その際政府は全国瞬時警報システムJアラートを発信し対象地域とされる、北海道、青森県、東京都で国民の携帯電話が大音量で鳴りました。Jアラートを通じて北朝鮮のミサイル発射情報は、2017年9月以来5年ぶりで、運用開始から5度目となります。北海道民医連は北朝鮮政府に対しミサイル発射に強く抗議するとともに、日本政府のJアラートの乱用について自制を強く求めます。

北朝鮮のミサイル発射に際して、公共交通機関が一時待機や停止などの措置が取られ、通勤や通学の時間帯と重なり日常生活など市民生活に多大な影響を受けました。また、Jアラートという過剰な対応により医療や介護の現場では不安も広がりました。

現在、北海道内でオスプレイも参加し、陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練が行われています。丘珠駐屯地を拠点とし住宅密集地も飛行するなど道民のいのちに関わる危険な内容です。また、東アジアでの軍事的緊張が高まる中で、日米が共同で訓練を行うことは、この対立に日本が巻き込まれることになり、日本の安全保障に逆行します。

こうした中で効果が疑われるJアラートを使い、北朝鮮との軍事的緊張をあおり立てることは直ちに止めるべきです。また、国民へ脅威を増強させて軍事費増の口実にすることも認められません。

私たち医療、介護、福祉従事者は、道民のいのちを最優先し、憲法を守り生かす立場から北朝鮮のミサイル発射とJアラートの乱用に強く抗議します。

以 上